



心臓財団 季報 No.163

QUARTERLY REPORT OF JAPAN HEART FOUNDATION

May 10, 2001

財団法人日本心臓財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル835区-A

Tel 03-3201-0810 Fax 03-3213-3920 e-mail:info@jhf.or.jp http://www.jhf.or.jp/

本号の主な内容

2面：第16回日本心臓財団予防賞 - 豊嶋英明教授が受賞/第26回日本心臓財団佐藤賞 - 江頭健輔講師が受賞/第25回日本心臓財団草野賞 - 横山徹爾助手が受賞 3面：講演会開催のお知らせ「心臓病、不整脈を良く知ろう」/「高血圧 予防と対策を考える」 4面：「ライフスタイルを変えよう」/全国縦断ハートフェア 5面：心血管病研究助成対象者決定/平成13年度日本心臓財団研究奨励募集/「健康ハートの日」川柳募集 6面：分子循環器研究助成対象者決定/当財団へのご寄付/当財団の賛助会/春の叙勲/人の動き

平成13年度の事業計画を決定 第100回理事会・第39回評議員会にて

3月19日、東京の銀行倶楽部にて第100回理事会および第39回評議員会が開催され、平成13年度事業計画、収支予算を審議決定しました。事業概要は以下のとおりです。

研究助成事業

A. 個別研究助成

1. 第27回日本心臓財団研究奨励の実施
〔助成額：1件100万円を10件〕
2. 第10回日本心臓財団入澤宏記念研究奨励の実施
〔助成額：1件100万円を1件〕
3. 日本心臓財団・ファイザー高血圧と血管代謝研究助成の実施
〔助成額：100万円を3件と40万円を5件〕
4. 第7回日本心臓財団・ファイザー心血管病研究助成の実施
〔助成額：250万円を4件と50万円を8件〕
5. 日本心臓財団・ゼリア新薬工業分子循環器研究助成の実施
〔助成額：1件100万円を10件〕
6. 第27回日本心臓財団佐藤賞の贈呈
平成14年4月25日(札幌)
7. 第66回日本循環器学会若年研究者奨励賞助成
平成14年4月25日(札幌)
8. 第26回日本心臓財団草野賞の贈呈
平成14年4月24日(仙台)
9. 第16回日本心臓財団予防賞の贈呈

平成13年5月29日(大阪)

10. 第6回日本心電学会学術奨励賞の後援
平成13年10月5日(東京)

B. 班研究助成

1. 急性心筋梗塞に関する疫学的研究助成
2. 愛知循環器病予防研究助成
3. 不整脈の薬剤長期治療計画に関する研究助成
4. 心筋梗塞後の心血管イベント発生に関する研究助成
5. J-CAD study助成
6. 西暦2000年日本人の血清脂質調査研究助成
7. 心臓病・循環器疾患に代表される生活習慣病と勃起障害(ED)の調査研究助成

C. 留学助成

1. 第15回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成の実施
〔助成額：1件300万円を10件〕
2. 東京海上による海外研究者研修助成の実施
アセアン諸国の循環器の研究者に対する助成
〔助成額：1件最大80万円を総額500万円〕

学術活動・会議助成事業

1. 第23回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招待講演)助成
平成14年4月25日(札幌)
2. 第66回日本循環器学会学術集会助成
平成14年4月24~26日(札幌)

3. 第49回日本心臓病学会学術集会助成
平成13年9月23日～26日(広島)
 4. 第42回日本脈管学会総会
平成13年11月20日～22日(大阪)
- ほか循環器に関連する国際・国内会議助成

・ 広報啓発事業

1. 日本循環器学会との協力事業
病院掲示用壁新聞の制作配布、公開講演会の開催
2. 予防啓発小冊子の発行
3. 「健康ハートの日」川柳キャンペーン
心臓(病)にちなんだ川柳を全国より募集し、最優秀作、優秀作、佳作を選考
4. 「健康ハートの日」広報活動 ポスターの制作配布
5. インターネット「心臓財団のページ」関連広報活動
<http://www.jhf.or.jp/>
6. 予防活動団体への協力
7. 日本心臓ペースメーカー友の会への協力
8. トーアエイヨー(株)によるラジオたんぱ「心臓財団虚血性心疾患セミナー」
9. 世界心臓連合加盟団体としての諸活動
10. 月刊医学雑誌「心臓」の編集
11. 機関紙の発行

・ 設立30周年記念事業

1. 全国縦断ハートフェア
2. 市民講演会の開催
3. データベース・チェックサイト構築

第16回日本心臓財団予防賞

豊嶋英明教授が受賞

第36回日循協総会にて

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に永年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは研究者を対象に贈られるものです。

第16回の対象者に名古屋大学大学院医学研究科公衆衛生学の豊嶋英明教授が選ばれました。受賞研究は「新潟県における突然死と虚血性心疾患に関する疾病的調査研究」で、来る5月29日、大阪国際会議場で開催される第36回日本循環器管理研究協議会(日循協:会長・上田一雄九州大学医療技術短期大学部教授)総会において賞牌ならびに50万円が贈られます。



第26回日本心臓財団佐藤賞

江頭健輔講師が受賞

第65回日本循環器学会にて

第26回日本心臓財団佐藤賞の授与式が、3月26日国立京都国際会館において第65回日本循環器学会(会長:篠山重威京都大学大学院医学研究科循環病態学教授)学術集會会期中の総会時に行われました。

これは当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられたもので、近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。日本循環器学会会長を委員長とする選考委員会において選考され、今回は九州大学医学部循環器内科の江頭健輔講師に決定しました。授与式では当財団の春見建一副会長より賞牌ならびに100万円が贈呈されました。

研究課題は、「血管内皮細胞機能と動脈硬化・虚血性心疾患」で、同学術集會において受賞記念講演が行われました。



第25回日本心臓財団草野賞

横山徹爾助手が受賞

第26回日本脳卒中学会にて

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられたもので、その1年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の論文に対し贈られるものです。

第25回同賞が、山口武典第26回日本脳卒中学会会長(国立循環器病センター総長)のもとで選考され、3月16日、大阪国際会場で開催された同学会総会時に賞牌と50万円が贈呈されました。

受賞者は、東京医科歯科大学難治疾患研究所社会医学研究部門疫学の横山徹爾助手で、受賞論文は「日本の一地域において血清ビタミンC濃度がその後20年間の脳卒中罹患率と逆相関していた 新発田研究」でした。



講演会開催のお知らせ

「心臓病、不整脈を良く知ろう」

日 時：平成13年5月20日(日) 午後1時～4時
 会 場：つくば国際会議場エポカルつくば(大ホール) TEL.0298-61-0001
 定 員：800名 入場無料(当日先着順)
 主 催：日本心臓ペースング・電気生理学学会
 共 催：日本心臓財団、ペースメーカー協議会、日本心臓ペースメーカー友の会

〔第一部〕

座長：堀 原一(筑波大学名誉教授)

1. 不整脈といわれたら
細田 達一(東京女子医科大学名誉教授・榊原記念病院院長)
2. 不整脈とのつきあい方と治療法
早川 弘一(日本医科大学名誉教授・久我山病院院長)

座長：廣澤 弘七郎(東京女子医科大学名誉教授)

4. 狭心症、心筋梗塞とのつきあい方と治療法
春見 建一(日本心臓財団副会長)
5. 心不全とのつきあい方と治療法
篠山 重威(浜松労災病院院長)

〔第二部〕

座長：須磨 幸蔵(東京女子医科大学名誉教授)

3. 胸にこんな症状を感じたら
杉本 恒明(東京大学名誉教授・関東中央病院院長)

お問い合わせ先

日本心臓ペースング・電気生理学学会 - 事務局 -
 TEL.03-3560-4346 FAX.03-5360-4347(10:00～17:00土、日、祝日を除く)
 日本心臓ペースメーカー友の会本部 TEL・FAX.03-3420-1200

「高血圧 予防と対策を考える」

日 時：平成13年5月26日(土) 午後1時～4時
 会 場：シェンパッハ・サボー【砂防会館 別館1階大会議室】東京都千代田区平河町2-7-5
 主 催：毎日新聞社、日本心臓財団
 後 援：厚生労働省、日本医師会、東京都医師会
 協 賛：カルピス株式会社

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開演挨拶 春見建一(日本心臓財団副会長)
- 13:05 【基調講演】「生活習慣病と高血圧」
藤田 敏郎(東京大学大学院医学系研究科内科学教授)
- 13:45 【講演1】「高血圧の運動療法」
佐藤 祐造(名古屋大学総合保健体育科学センター健康増進科学 教授)
- 14:15 【講演2】「高血圧の食事療法」
出浦 照國(昭和大学藤が丘病院内科学教授)
- 14:45 休憩
- 15:00 【パネルディスカッション】
[高血圧について考える]
座 長 / 藤田 敏郎(東京大学大学院医学系研究科内科学教授)
パネリスト / 佐藤 祐造(名古屋大学総合保健体育科学センター健康増進科学 教授)
出浦 照國(昭和大学藤が丘病院内科学教授)
松田 早苗(女子栄養大学クリニック専任講師)

申し込み

参加対象：一般(入場無料)
 次の方法でお申込みいただいた方の中から抽選にてご招待状をお送りいたします

応募方法

ハガキ：〒100-8051毎日新聞社(住所は不要です)
 「高血圧 予防と対策を考える」係
 F A X : 03-3212-0405
 e-mail : seminar@mainichi-ks.co.jp

上記のいずれかの方法にて、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上ご応募ください。なお、高血圧に関する質問がございましたらお書き添えください。

お問い合わせ

毎日新聞社事務局
 TEL.03-3212-2272 FAX.03-3212-0405
 e-mail : seminer@mainic

ライフスタイルを変えよう

日 時：平成13年5月31日(木) WHO禁煙デー)

会 場：大阪国際会議場 メインホール

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51 TEL06-4803-5555 FAX06-4803-5620

主 催：日本循環器管理研究協議会

日本心臓財団

第5回国際循環器病予防会議

後 援：(予定)厚生労働省、日本医師会、大阪府医師会、日本看護協会、日本栄養士会

- 16:00 開会挨拶 上田一雄(日本循環器管理研究協議会理事長)
春見建一(日本心臓財団副会長)
- 16:20 講 演 講演1. どうしたら禁煙できるか(同時通訳)
座 長 上田一雄
演 者 Judith Mackay (アジア禁煙運動部主任, 香港)
- 17:00 休 憩
- 17:10 講 演 講演2. 21世紀の日本人の健康づくり - 健康日本21
座 長 澤井廣量(日本循環器管理研究協議会事務局長)
演 者 上島弘嗣(滋賀医科大学福祉保健医学教授)
- 講演3. 脳卒中予防のためのライフスタイル
座 長 柴田茂男(女子栄養大学臨床栄養学教授)
演 者 中山博文(日本脳卒中協会事務局長)
- 18:30 閉会挨拶 尾前照雄(第5回国際循環器病予防会議会長)

全国縦断ハートフェア

市民講演会を中心とした全国縦断ハートフェアを平成12年5月から13年10月まで日本を縦断する各地で開催いたします。自らの健康状態を知り、健康を守ることの大切さを理解していただきたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。



- | | | |
|---|---|--|
| ●H.12.5.27 東京(終了)
生活習慣病予防講演会 澤井廣量 | ●H.12.11.17-19 郡山(終了)
ふくしま暮らしと住まい展 福島県 | [今後の予定] |
| ●H.12.7.8 東京(終了)
高血圧予防と対策を考える 産経新聞社 | ●H.13.1.27 東京(終了)
心臓病の予防に向けて 読売新聞社 | ●H.13.5.20 つくば
日本心臓ペースング・電気生理学学会 山口 巖 |
| ●H.12.8.1-10 鹿児島(終了)
健康ハート旬間2000in鹿児島 有馬新一 | ●H.13.2.10 名古屋(終了)
日本循環器学会東海地方会 児玉逸雄 | ●H.13.5.26 東京
高血圧予防と対策を考える 毎日新聞社 |
| ●H.12.8.10 豊橋(終了)
ハートの日 鈴木孝彦 | ●H.13.3.10 東京(終了)
日本集中治療医学会 高野照夫 | ●H.13.5.31 大阪
生活習慣病予防講演会 上田一雄 |
| ●H.12.8.10 東京(終了)
突然死を救えるか 慶應義塾大学 三田村秀雄 | ●H.13.3.23 札幌(終了)
北海道心臓協会講演会 北島 顕 | ●H.13.9.26 広島
日本心臓病学会 松崎益徳 |
| ●H.12.8.10-13 東京(終了)
心臓いきいきハートフェア
日本心臓財団30周年企画委員会 | ●H.13.3.24 京都(終了)
日本循環器学会市民公開講座 篠山重威 | ●H.13.10 仙台
日本心不全学会 白土邦男 |
| ●H.12.10.21 福岡(終了)
日本高血圧学会 竹下 彰 | ●H.13.4.28 大阪(終了)
高血圧予防と対策を考える 産経新聞社 | |

心血管病研究助成対象者決定

協力:ファイザー製薬(株)

ファイザー製薬株式会社の協力を得て、循環器学の発展と40歳未満の少壮研究者の育成のための第5回および第6回心血管病研究助成を実施いたしました。

第5回の研究テーマは「不整脈」で、昨年23件の応募の中からポスター発表により12件が選考され、本年3月3日、京都リサーチパークにおける研究発表会でその12名による口演発表をもとに4名が選考されました。助成金はそれぞれ200万円です。

第6回の研究テーマは「循環器病研究とイメージング」で30件の応募があり、同日同会場にてポスター展示による自由討議を行い12名が選考されました。助成金はそれぞれ50万円です。さらに明年3月開催の研究発表会でこの12名から4名を選考しそれぞれ200万円を助成いたします。

平成13年度日本心臓財団研究奨励募集

1. 研究奨励金および応募資格

- (1) 第27回日本心臓財団研究奨励
1件100万円。40歳未満の研究者。
- (2) 第10回日本心臓財団入澤宏記念研究奨励
100万円を1件。30歳未満の研究者。

2. 応募期間

平成13年6月1日~7月15日
お問い合わせは日本心臓財団事務局へ。

「健康ハートの日」川柳募集

一般の方々に心臓病に関心をもっていただくため8月10日を「健康ハートの日」と定め、事業を展開しております。今年も心臓(病)にちなんだ川柳募集を行いますが、テーマを禁煙としました。

官製はがきに禁煙を取り上げた自作で未発表の川柳一句と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ下記のところまでお送りください。6月23日着分で締め切ります。発表は8月10日に入賞者にご連絡のうえ、本誌に掲載します。

応募先: 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-4
(株)メディカル・ジャーナル社内
日本心臓財団「健康ハートの日」川柳係

心血管病研究助成対象者(五十音順・敬称略)

第5回「不整脈」 (助成金額は各200万円)

- 上山 剛《山口大学医学部第二内科医員/32歳》
慢性心房細動患者の心房筋におけるCa²⁺制御蛋白の変化
- 清水 渉《国立循環器病センター内科心臓部門医員/38歳》
イオンチャンネル病としての先天性QT延長症候群の細胞学的成因と抗不整脈薬の有効性
- 山下武志《心臓血管研究所第三研究部/38歳》
心房細動におけるイオンチャンネルのリモデリング
- 吉田秀忠《京都大学大学院医学研究科循環病態学/32歳》
致死性心室性不整脈の分子生物学的基盤の解明
(年齢は前回応募時)

第6回「循環器病研究とイメージング」(助成金額は各50万円)

- 大谷宏紀《東北大学大学院医学系研究科循環器病態学医員/35歳》
¹¹C標識ジアシルグリセロールによる心筋イノシトールリン脂質代謝回転の画像化の研究
- 川崎雅規《岐阜大学医学部第二内科助手/37歳》
血管内超音波の高周波信号解析によるヒト冠動脈プラークのin vivo組織性状診断
- 小島 淳《国立循環器病センター内科心臓部門医員/32歳》
術後収縮性心膜炎の特徴 Tagged Cine Magnetic Resonance Imagingを用いた新しい診断法
- 後藤信哉《東海大学医学部循環器内科講師/39歳》
レーザー共焦点顕微鏡による血小板血栓の3次元イメージング
- 多田村栄二《京都大学医学部核医学画像診断学/38歳》
重症冠動脈病変検出法としての負荷時一過性心拡大の意義 ポジトロンCTと心電図同期SPECTの比較
- 平田久美子《大阪市立大学大学院医学系研究科循環器病態内科学研究医/32歳》
性周期および女性ホルモンによる冠循環の変化
- 福澤 純《旭川医科大学医学部第一内科医員/40歳》
筋緊張性ジストロフィー患者における遺伝子異常と心筋脂肪酸代謝異常
- 船橋伸禎《千葉大学医学部第三内科研究生/36歳》
電子ビームCT、マルチスライスヘリカルCTを用いた冠動脈粥状硬化の組織性状評価、Vulnerable Plaqueの非侵襲的検出の試み
- 本岡真琴《京都大学大学院医学研究科循環病態学大学院生/30歳》
Saturation-recovery TurboFLASH MR ImagingにおけるT1緩和時間の測定
- 山下智也《神戸大学医学部第一内科非常勤講師/32歳》
単色放射光を用いた微小血管造影法の開発と疾患モデルマウスでの微小血管動態の評価
- 山田さつき《筑波大学臨床医学系循環器内科大学院生/34歳》
心磁計測システムを用いた心房細動の画像化 focal atrial fibrillationとrandom reentryの鑑別
- 吉永恵一郎《北海道大学医学部核医学診療科医員/34歳》
Carbon-11 Acetate PETによる特発性拡張型心筋症での心筋酸素消費量、エネルギー効率の定量的解析

分子循環器研究助成対象者決定

協力:ゼリア新薬工業(株)

ゼリア新薬工業株式会社の協力のもとに循環器領域において分子生物学的手法を用いた研究に貢献が期待される40歳以下の若手研究者に対する研究助成を実施しております。今回は全国より58件の応募があり、3月26日に開催された選考委員会において下記の10名が選考されました。助成金はそれぞれ100万円です。来る7月28日に全社協・灘尾ホールにて授与と昨年選考された助成研究の発表報告が行われます。

分子循環器研究助成対象研究者

(五十音順・敬称略・助成金額は各100万円)

- 青木浩樹《山口大学医学部分子脈管病態学 / 39歳》
血管平滑筋細胞の分化制御、細胞死制御の分子機構：
MAPキナーゼ系、とくにJNKの役割の検討
- 石坂信和《東京大学医学部附属病院循環器内科 / 39歳》
ヘムオキシゲナーゼ-1遺伝子導入によりラット下肢虚
血モデルで認められる血流改善効果の機序の検討
- 石田隆史《広島大学医学部附属病院第一内科 / 39歳》
c-Srcおよびその新規の基質Casの血管リモデリングに
おける役割の解析
- 江本憲昭《神戸大学医学部第一内科 / 39歳》
エンドセリン変換酵素による循環調節機構の分子生物
学的解析 遺伝子欠損マウスを用いた検討
- 柿沼由彦《筑波大学臨床医学系循環器内科 / 37歳》
心筋細胞におけるエネルギー代謝変換調節機構が心筋
由来心血管作動性物質の発現におよぼす分子的連関機
構についての研究
- 暮石泰子《三重大学医学部第一内科 / 34歳》
高血圧病態におけるRho/Rho-kinase ミオシンフォス
ファターゼによるリン酸化調節機構の役割
- 新藤隆行《東京大学大学院医学系研究科循環器内科 / 34歳》
マウス遺伝子操作によるアドレノメデュリン(AM)お
よびカルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)の血管
制御機構の解明
- 高島成二《大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学 / 37歳》
VEGF受容体ニューロピリンと血管発生・血管新生
- 高橋将文《自治医科大学分子病態治療研究センター
臓器置換研究部循環器内科 / 36歳》
心血管疾患におけるMacrophage Migration Inhibitory
Factor(MIF)の発現とその役割
- 田村功一《藤沢市民病院腎臓高血圧内科 / 37歳》
核レセプターLXRによる新規調節領域を介したレニン
およびc-myc遺伝子発現制御メカニズムについての分
子生物学的研究

ご支援ありがとうございました

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2001年2月~2001年4月)

鈴木 秀和様	神奈川県川崎市	5万円
橋口候之介様	東京都目黒区	3万円
三谷 作 様	兵庫県神戸市	10万円
瀬尾信一郎様	東京都世田谷区	3万円

当財団の賛助会

個人賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。(敬称略:2001年2月~2001年4月)

大槻俊輔 椎名武雄 高木 宏

ご寄付ならびに賛助会加入のお願い

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額3万円、2万円、1万円、法人の場合は5万円で何口でも差し支えありません。

なお、当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、寄付金・賛助会費については税制上の優遇措置が講じられております。ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597

宛て先 財団法人日本心臓財団

春の叙勲

平成13年春の叙勲で坪井栄孝氏(当財団顧問)が勲一等旭日大綬章を、波多健治郎氏(当財団評議員)が勲二等旭日重光章を受章されました。

人の動き

篠山重威氏(当財団常任理事)平成13年3月31日をもって京都大学医学研究科循環病態学教授を退官され、4月1日より労働福祉事業団浜松労災病院院長になられました。

山口武典氏(当財団理事)平成13年4月1日より国立循環器病センター総長から名誉総長になられました。

小柳 仁氏(当財団評議員)平成13年3月31日をもって東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所循環器外科学教授を退職され、同大学顧問となり、聖路加国際病院ハートセンター長になられました。

門間和夫氏(当財団評議員)平成13年3月31日をもって東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所循環器小児科学教授を退職され、同大学名誉教授になられました。



お近くにお越しの際は、お立ち寄り下さい。